



Q

「いじめ」発生時の対応について

出雲敏太郎 議員



A

関係機関との情報共有を図りながら、いじめの撲滅を目指す

- 質問一** いじめの定義について。
- 二** 未然防止の取組は。
- 三** 発生時の学校と教育委員会の対応は。
- 四** 深刻ないじめへの対応は。
- 答弁一（教育委員長）** いじめ防止対策推進法では、「他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定義されている。
- 二** 教職員による見守りやアンケート、生活ノート等への記述などにより、児童生徒の状況把握などを行っている。また、道徳の授業や学級活動、全教職員による組織的な対応、学校・家庭・地域との連携による未然防止に努めている。
- 三** 校内で共通理解を図り、組織的に対応し、保護者との連携、協

- 力のもと、指導と再発防止に努める。また、ささいなケースでも教育委員会に報告し、連携する。
- 四** 事案により教育委員会が調査をし、必要に応じて第三者機関による調査を行う。児童等の安全の確保と心のケアを行い、いじめを行った児童等の出席停止を命じる場合や警察との連携対応をする場合もある。関係機関との情報共有を図り、いじめの撲滅を目指す。
- ◎**その他の質問** 自転車の交通安全対策について

Q

後期基本計画の中心点を問う

高田 克彦 議員



A

地方創生と方向性は同じ

質問一 教育問題について。

ア 西中学校のいじめ問題後の教育方針は。

イ 西中学校の体育祭で卒業生と他校生をシャットアウトした件。

二 後期基本計画の重要施策について。

ア 農業大学の跡地について。

イ 運動公園第一期整備の借入金残額と第二期の拡張の資金計画は。

三 地方創生との関連について。

答弁一 ア（教育委員長） 鶴ヶ島市いじめ問題調査審議会の提言を受け止め、いじめ防止の取組を一層充実させる。

イ 背景には、校地内及び周辺で

- の迷惑行為等があったと聞いている。昨年の事故との関連はない。
- 二 ア（市長）** 産業を振興し、地域の雇用拡大につながるよう、県と連携して取組を進めている。
- イ** 借入金の残額は昨年度末現在で13億7184万円である。第二期整備に当たっては、国庫補助金などの財源確保の上、進める。
- 三** 基本構想に掲げる将来像「鶴ヶ島は元気にする」は、活力のまち、安心のまちを目指したものであり、地方創生の方向性と同じである。後期基本計画では、地方創生のための総合戦略との関係性を整理して関連施策を位置づける。

